

原子力産業部会の役割と顔ぶれ

日本原子力産業会議原子力開発特別委員会、一面所報のように四月十七日発足したが、各部会の当面の検討事項と委員(五月一日現在)は次のとおりである。

【総合部会】

基礎的・一般的問題の検討を行ない各部会間の連絡調整にあたる。①一般経済情勢ならびに見こし



委員長 根 松部

②原子力開発情勢分析③国家補助助成④国際協力⑤関連産業の

【部会】電気事業連合会副会長 松根一(委)東京電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

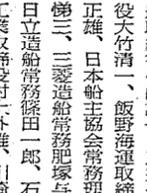
【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三



委員長 根 松部

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

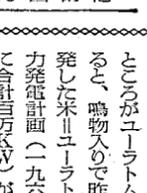
【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎



委員長 根 松部

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

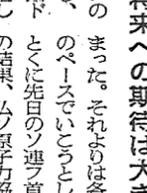
【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎



委員長 根 松部

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

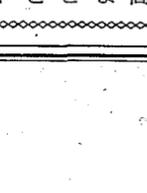
【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎



委員長 根 松部

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎



委員長 根 松部

【部会】電力工業連合会副会長 木田一(委)中部電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 通夫(委)関西電力副社長

【部会】電力工業連合会副会長 友原子力工業専務高田紀雄

【部会】電力工業連合会副会長 士電機製造社長金成増彦

【部会】電力工業連合会副会長 長谷川常務取締役三原研吉

【部会】電力工業連合会副会長 開発銀行理事安永一雄

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

【部会】電力工業連合会副会長 理事高橋秀三

【部会】電力工業連合会副会長 会長山田昌大

【部会】電力工業連合会副会長 高井亮太郎

原子力関係特許の現状

公告数では放射線測定が最高

【部会長】三原研吉(委)電力工業連合会副会長

【部会長】友原子力工業専務高田紀雄

【部会長】士電機製造社長金成増彦

【部会長】長谷川常務取締役三原研吉

【部会長】開発銀行理事安永一雄

【部会長】会長山田昌大

【部会長】高井亮太郎

【部会長】理事高橋秀三

【部会長】友原子力工業専務高田紀雄

【部会長】士電機製造社長金成増彦

【部会長】長谷川常務取締役三原研吉

【部会長】開発銀行理事安永一雄

【部会長】会長山田昌大

【部会長】高井亮太郎

【部会長】理事高橋秀三

Advertisement for TEN Atomic Instruments, featuring various scientific equipment and contact information for Ten Industry Co., Ltd.

放医研 35年度業務計画を発表

放射線医学総合研究所は四月二十八日、三十五年度の業務計画を発表した。そこでこれを機会に今年度の放医研の具体的な業務の内容をまとめてみた。その中で今年度はとくに研究業務の本格化をなすべく、施設を二層充実し、各部協同による総合研究課題をもちいて最大許容量に関する研究を重点的に行なうほか、昨年度に引き続き養成訓練を行なうことも、放射線調査のテクニカル・センターとしての役割に対処するため技術部に放射線検査部を設けて調査を開始する。また今年度中に病院を完成し、入院患者をうけいれるほか共同研究施設として各種の研究を行なうことが重点としてあげられる。

研究

研究業務は放医研業務の中核をなすものであり、必要の研究テーマを重点的にとりあげて計画を立てなければならぬ。この目的を達成するため本年度から総合研究課題と各部研究課題とをわけ、前者については国際的、国内的事情、研究体制を考慮して、最大許容量に関する研究を重点として、後者の各部研究は、放医研に課せられた業務である放射線による人体の障害とその予防、診断と治療に関する研究、放射線の医学的利用に関する研究を遂行するために必要不可欠なものであって、これらの研究の成果がなければ前記総論の研究体制を構築して、最大許容量に関する研究を進めなければならない。

本格的な研究段階へ

病院も今年中に完成

予防対策に力点を置くことが要求され、国際的にも国内にも大きな関心が寄せられており、また放射線の医学的利用に対する期待も大きく「放射線と人体」という未知の領域に取り組む放医研の使命は重大であるといえる。

合研究課題の解明も進んでいないのである。しかし将来の放医研の研究は、各部研究から総合研究へと移行していくべきかと思われ、またこれらの研究を遂行するために、従来放医研の企画にみられなかった、各分野の総力を結集した研究会も開催し、放医研内外の当該研究者による知識の交流をはかる方針である。

動物への照射実験を専門に行なうエクセス線照射装置(三十万ボルト、十ミリアンペア)二回実施するための予算がぐくまれ、ラジオアイソトープ実験棟をほのめ、研究設備の増設と機械設備の整備、研究員増加などにより所内における協力体制の強化をはかり、教科課程の飛躍的な充実を予定している。一方これにともない、年度以降に予定される放射線防護長期研修課程あるいは放射線医学課程などに関し、具体的実施計画を立案検討することとも本年度の課題としている。また本年中にWHO世界保健機構の依頼による研修も一回行なう予定である。

「アトム会」誕生
原子力委員、局の関係者で
交流、連絡の緊密化を図るために設立された「アトム会」の発足が、委員、局の関係が拡大、発展しつつある現状を反映している。この「アトム会」の第一回会合は四月二十五日午後五時から、原子力局の関係者により「アトム会」が結成された。これは原子力行政が拡大、発展しつつある現状を反映している。この「アトム会」の第一回会合は四月二十五日午後五時から、原子力局の関係者により「アトム会」が結成された。これは原子力行政が拡大、発展しつつある現状を反映している。

予算の特長
放医研の三十五年度歳出予算は七億九千九百九十九万七千七百七十九円九角五分、前年度五億八千三百八十八万七千七百七十九円九角五分に比して一億一千八百九十万九千九百九十九円九角五分の増加分は病院開設にともなう分が主体である。なお放医研研究費の支出予算総額は合計九億九千九百九十九万七千七百七十九円九角五分、試験研究用機械器具購入費は約三億(約六億四千二百万円)となっている。



建設
本年度の研究施設の建設は、病院、東海支所の新設をはじめと

養成訓練
本年度は前年度末に実施した第一回放射線防護短期研修課程と同じ課程(二十名ずつ八週間)を



予算の特長
放医研の三十五年度歳出予算は七億九千九百九十九万七千七百七十九円九角五分、前年度五億八千三百八十八万七千七百七十九円九角五分に比して一億一千八百九十万九千九百九十九円九角五分の増加分は病院開設にともなう分が主体である。なお放医研研究費の支出予算総額は合計九億九千九百九十九万七千七百七十九円九角五分、試験研究用機械器具購入費は約三億(約六億四千二百万円)となっている。



原子力国内事情(四月号)
【主要内容】三十五年度原子力開発利用基本計画と同様原料物産米・ユラトムの合同計画の進展の発見、通産省原子力産業部の発足、学術会議の長期計画第二回シンポジウム、JRR-1の燃料取り出し試験

原子力海外事情(四月号)
【主要内容】柔軟性を求められる米・ユラトムの合同計画の進展の発見、通産省原子力産業部の発足、学術会議の長期計画第二回シンポジウム、JRR-1の燃料取り出し試験

原子力年鑑

昭和35年版

内外の原子力開発を展望する最も新しく最も正確なハンドブック

ビジネス、調査マンの机上に、学校、図書館にぜひ1冊!

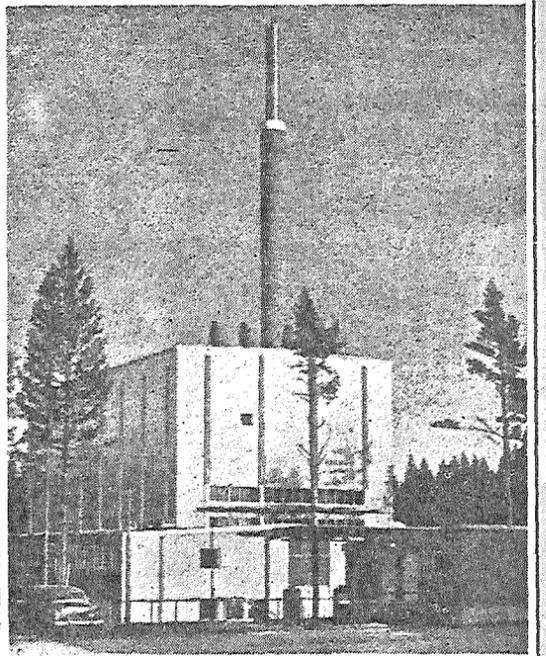
定価 700円

A5判 8ボ横2段組 630頁 クロス上製 箱入 (付録) 原子力産業新聞3カ月分

日本原子力産業会議 刊行

全国の書店で発売していますから、最寄りの書店で、お買い求め下さい。品切れの際は直接当会へお申込み下さい。

【内容】次の五編にわかれ、写真、統計表も豊富に収録。
①原子力年表 原子力の草創期から三十四年二月までの原子力小史
②国際編 原子兵器をめぐる動き、原子力平和利用の進展と技術の進歩、国際機関の活動や国際協力などを総括的にとらえ、別に各別国の現状を整理
③国内編 放射能と原子兵器をめぐる動き、開発上の各種問題、国際関係などをテーマ別に整理、原子力関係機関、原子力産業の動きを機関別、会社別に紹介
④資料編 関係法令、協定、補助金、特許、図書、資料など各種、とくに六〇頁に及ぶ世界の原子力一覧表は、わが国唯一のもの
⑤人名簿 国内原子力関係人名を網羅、海外著名原子力関係者二五〇名を加えて完備
索引 事項、広告索引とも完備



完成近いスエーデンの材料試験炉「R-2」。米A C F社製でオークリッジの「ORR」と同型のタンク型、熱出力3万KW

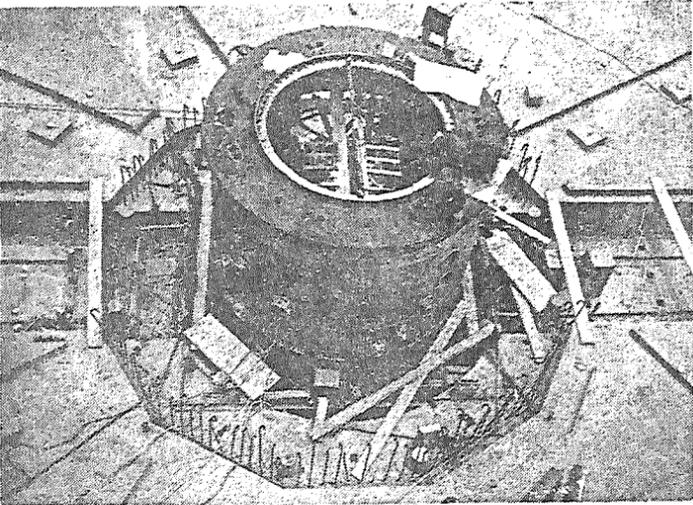
一年の内外原子力情勢を回顧して

わが国の原子力平和利用体制が確立して四年半、いま世界では、その進歩の跡をふりかえりつつ、今後十五年ないし二十年の長期構想を凝視するに検討に着手した。その意味で過去一年の原子力界のめまぐるしい動きは、将来をほくする大きな意義をもっている。ここに改めて内外の情勢を概観し今後の指針とした。

変らぬ開発テンポ

燃料の供給増は一時的

海外 一年間の原子力開発の進展をふりかえってみると、まず一般的にいって先進各国の原子力技術を開発するための努力は、いささかの動揺をみせず、着実に進められてきた。とくにフランス、西ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの六カ国で形成されているユーラトムの計画は、われわれの関心を強くひくものであった。一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ



一般の予想を大きく下回るものとなつていようである。しかしこれは過去一、二年の間にいちじるしく急激した化石燃料の供給量の増大と低コスト化によるものである。一時的な現象でしかないと考えられるのである。また、これまで世界最大の規模の原子力発電計画を進めてきたイギリスにおいても、同様に石炭の備蓄という一時的現象から、現在のところでは建設のテンポをいっしょにゆるめてきており、技術者たちは、めまぐるしい進歩を示してきた在来方式の火力発電技術に対して原子力による発電技術の対等な太刀打ちをせよとするために、改良型気体冷却炉、高温気体冷却炉をめぐむ新技術の研究開発に鋭意取り組んでいる。この現状のようである。

一方、世界最大の経済力と最高の技術的背景をもつアメリカにおいては、従来から着々と進めてきた各種多様な有望な原子力型式について、それぞれ第一世代の発電炉の建設を行なっており、順次これを完成させていく。その過程において、あるいはそれと並行して将来のためのより一層すぐれた技術を開発するべく努力をかたむけていく。とくに歴史的に深く刻みつけられたのは、昭和三十一年から国をあげてその検討を行なってきたコールドホール改良型原子力炉の導入が、正式に決定されたことである。この問題については、安全面についての検討がとくにあらゆる角度から行なわれ、その問題点が残ら

れ以外の普通の地域でも今後十年以内に、原子力発電を在来火力発電と電力打ちかきかえるような技術的見通しがあることをのべている。さらに、その実現をはかるための具体的手段として、今後各種の試験研究施設や原型炉などを作っていくことが必要であり、そのための十年間に十七億の資金を投

国内 別項のような海外の動きを過激に反映してわが国において原子力開発、とくに原子力発電に対する期待をめぐって、論議がかわされた。しかし、それによって実質的にわが国の原子力政策が左右されることは産業界の原子力に対する熱意が後退するような事態にはいたらず、むしろ原子力開発の広範な分野にわたって基礎研究においても、実用化促進の面でも、着実な進歩が印された一年であった。とくに歴史的に深く刻みつけられたのは、昭和三十一年から国をあげてその検討を行なってきたコールドホール改良型原子力炉の導入が、正式に決定されたことである。この問題については、安全面についての検討がとくにあらゆる角度から行なわれ、その問題点が残ら

研究開発体制すすむ

歴史的な原子力発電所の決定

この調査は五月五日の時点で、最近公表された同委員会の報告書にも含まれている。この報告書によれば、原子力発電所としては十五万KWの規模を目標として、一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ

この調査は五月五日の時点で、最近公表された同委員会の報告書にも含まれている。この報告書によれば、原子力発電所としては十五万KWの規模を目標として、一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ

海外情勢

海外情勢 一年間の原子力開発の進展をふりかえってみると、まず一般的にいって先進各国の原子力技術を開発するための努力は、いささかの動揺をみせず、着実に進められてきた。とくにフランス、西ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの六カ国で形成されているユーラトムの計画は、われわれの関心を強くひくものであった。一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ

海外情勢 一年間の原子力開発の進展をふりかえってみると、まず一般的にいって先進各国の原子力技術を開発するための努力は、いささかの動揺をみせず、着実に進められてきた。とくにフランス、西ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの六カ国で形成されているユーラトムの計画は、われわれの関心を強くひくものであった。一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ

海外情勢 一年間の原子力開発の進展をふりかえってみると、まず一般的にいって先進各国の原子力技術を開発するための努力は、いささかの動揺をみせず、着実に進められてきた。とくにフランス、西ドイツ、イタリア、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの六カ国で形成されているユーラトムの計画は、われわれの関心を強くひくものであった。一九六二年を目標とする第一回原子力発電計画は、今のところ

国内情勢

国内情勢 別項のような海外の動きを過激に反映してわが国において原子力開発、とくに原子力発電に対する期待をめぐって、論議がかわされた。しかし、それによって実質的にわが国の原子力政策が左右されることは産業界の原子力に対する熱意が後退するような事態にはいたらず、むしろ原子力開発の広範な分野にわたって基礎研究においても、実用化促進の面でも、着実な進歩が印された一年であった。とくに歴史的に深く刻みつけられたのは、昭和三十一年から国をあげてその検討を行なってきたコールドホール改良型原子力炉の導入が、正式に決定されたことである。この問題については、安全面についての検討がとくにあらゆる角度から行なわれ、その問題点が残ら

国内情勢 別項のような海外の動きを過激に反映してわが国において原子力開発、とくに原子力発電に対する期待をめぐって、論議がかわされた。しかし、それによって実質的にわが国の原子力政策が左右されることは産業界の原子力に対する熱意が後退するような事態にはいたらず、むしろ原子力開発の広範な分野にわたって基礎研究においても、実用化促進の面でも、着実な進歩が印された一年であった。とくに歴史的に深く刻みつけられたのは、昭和三十一年から国をあげてその検討を行なってきたコールドホール改良型原子力炉の導入が、正式に決定されたことである。この問題については、安全面についての検討がとくにあらゆる角度から行なわれ、その問題点が残ら

国内情勢 別項のような海外の動きを過激に反映してわが国において原子力開発、とくに原子力発電に対する期待をめぐって、論議がかわされた。しかし、それによって実質的にわが国の原子力政策が左右されることは産業界の原子力に対する熱意が後退するような事態にはいたらず、むしろ原子力開発の広範な分野にわたって基礎研究においても、実用化促進の面でも、着実な進歩が印された一年であった。とくに歴史的に深く刻みつけられたのは、昭和三十一年から国をあげてその検討を行なってきたコールドホール改良型原子力炉の導入が、正式に決定されたことである。この問題については、安全面についての検討がとくにあらゆる角度から行なわれ、その問題点が残ら

地上最良の名案

人間が創り出した
僅少な経費で生活に
有力な基礎付けをす
る保険 これこそ
吾々近代人が考え出
した地上最大の名案
と云えましょう
予測のつかない不時
の災害こそ生きたし
生けるものにとつて
永遠の不安であり最
大の敵の一つとい
うことが云えますから
日本火災海上
本社 東京・日本橋

専門洋書

Compression and Transfer Moulding of Plastics. by Butter, J. & Mech, E. (Pub. for the Plastics Institute) 1959. ¥2,100
International Conference on High-Energy Accelerators and Instrumentation Cern, 1959. 5,000
Ionization Phenomena in Gases. by Francis, G. (Butterworths) 1959. 3,600
Magnesium and its Alloys. by Roberts, C. S. (John Wiley) 1960 3,600
Marine Corrosion Handbook. by Rogers, T. H. (McGraw-Hill) 5,000
Proceedings of the International Conference on Nuclear Physics. Paris July 1958. by Gugenberger, M. P. (Crosby Lockwood) 1959. 8,400
Radiation Pyrometry and its Underlying Principles of Radiant Heat Transfer. by Harrison, T. R. (John Wiley) 4,800

東京都新宿区角宮地 株式会社 紀伊国屋書店 振替東京125575
1丁目826番地 電話(371)代表0131



氷海を航行中の砕氷船レーニン号

原子力委の参与内定

新任は井上 中部電 社長ら十一名

原子力委員会は五月十一日、任期満了の参与十名の補充を内定した。十六日発令する。同委員会の定員は二十五名だが、うち五名は任期中であり、こんど内定した十名は新任九名、新任十一名である。委員は次のとおり。

- 力委員藤岡由夫、住友化学工業 専務正井省三、評論家三宅晴郎、元特命全權大使吉沢清次郎、東大名誉教授我妻素
- ▽新任 中部電力社長井上五郎
- 東工大教授大山義生、富士電機 製造部長野村作次、原電副副社長 磯根道吉、日赤中央病院院長藤原 正明、弁護士成富信夫、元原子 力委員
- ▽留任 福生光吉、大塚敦、倉田主税、久留島秀三郎、瀬藤象二、伏見康海、松根宗一、三島 徳七、山原昌夫
- ▽任期中 菊池正士、岡野保次郎、安川第五郎、高橋幸三郎、 脇村義太郎

スミス氏 IAEA 来日

核物質管理制度の指導に

国際原子力機関事務局長の保障措置部長ロジャー・M・スミス氏が、五月十四日、日本政府の要請で来日した。約一月にわたり滞在して我が国の核燃料関係者に核物質管理制度の指導をすることとなる。核燃料関係の諸施設を視察することのため十七日から二十日まで四日間、政府、原研、原燃、大学、民間会社などの核燃料関係者のために、東京港区赤坂の日本海事協会で核物質管理制度講習会を開催する。

カナダのエルドラ

スミス氏はカナダの人、本年四十一歳の若くして、マニトバ大学の出身、のちトリノ、トリノ国立原子力研究所に入り、M.R.A. の上級管理者、R.I. 技術管理者、

金属材料関係討論会

学術振興会 下旬・学士会館で

日本学術振興会では五月二十三日、二十四日午前九時から午後五時、東京赤門脇の学士会館で、金属材料関係の討論会を開くこと。今回は、百二十回原子力金属材料研究会の討論会を兼ねる。内容は、単なる発表会ではなく、徹底的に討論しようという主旨からである。から構造材料に及ぶの分科会、

原子力界の動き

○放射線同位元素等による放射線障害防止に関する法律の一部を改正する法律が、二日公布された。これは放射線取扱主任者免状を第一種、第二種の二種に分けるなど、同法施行以来の情勢の推移と経緯をふまえて、現状に適合するよう改めたもので、施行期日は六月以内の政令で定められた。○原子力委員会設置法の一部を改正する法律は、参議院で修正されたため衆議院に回付されたが、六月四日修正を承認して成立した。

原子力船調査 団報告書発表

11日原子力委員会に報告した。昨年十月から約五ヶ月間、米、英、仏、西独、ノルウェー、国際原子力機関など、原子力船開発の政策、組織、研究状況、経済的諸問題を調査してきた原研の原子力船調査団は、このほど報告書「欧米における原子力船開発の現状」を完成して発表した。B5判約百六十ページの膨大なものである。なお同調査団は五月十一日原子力委員会にこの説明をしたが、原子力委員会はこれにもとづいて緊急に基本方針を立案するため原子力局に調査させることとなった。

零下八十度に調節

東海研コバルト照射室で

昨年一月から広く一般に公開されてきた原研の東海研究所コバルト照射室は、こんど低温照射ができるようになった。毎年度、毎年五、八、十一、十二の各月第三週前後に低温照射が行われる。照射室は、フレオンガスでマイナス摂氏八十度までの低温調節ができることになった。しかしこの照射室は、低温の場合と違って、一〇

原動研講習会 定員150名を募集

日本原子力産業会議では、六月十三日から十月までの五ヶ月間開催される。開催要領は大体前回と同様だが、今年度は定員が五百五十名に増えた。また各月の講習期間がそれぞれ月の中旬一週間ずつを予定しており、五週間で全コースを終了する。会場は東京都千代田区永田町二の二、日本電機工業会四階講堂、参加費は一名につき一万五千元、原研調査部原子力課で申し込みを受け付ける。

主任者を二階級に

放射線障害防止法の改正

○報告書を作成して使命を果たすつもりで意見を交換した。その結果、これは原子力船研究の一環として取り扱ってよきものだから、原子力船開発計画の線画を固めてから取り上げるのが適当であるということになった。○日本学術会議核融合特別委員

見学取扱改む

団体は毎日二組だけに、原研東海研究所では、見学者の取扱を改定する。見学者は、見学者の人数、専門程度、予定日時などを記入した所定の申込書を、東京本部総務課か、東海研管内課に出さなければならない。見学者の原則として、R.R.I. 照射室、ウインドシールドなど見学者のあるところ、所員が案内する。人数は、団体二十名以内、一日二組まで受け付けるが、見学

事業経過 (上旬)

- △九日(月) 燃料・安全特別研究
- △十日(火) 放射線化学部会、同F
- △十一日(水) 放射線化学部会、同F
- △十二日(木) 放射線化学部会、同F
- △十三日(金) 放射線化学部会、同F
- △十四日(土) 放射線化学部会、同F
- △十五日(日) 放射線化学部会、同F
- △十六日(月) 放射線化学部会、同F
- △十七日(火) 放射線化学部会、同F
- △十八日(水) 放射線化学部会、同F
- △十九日(木) 放射線化学部会、同F
- △二十日(金) 放射線化学部会、同F
- △二十一日(土) 放射線化学部会、同F
- △二十二日(日) 放射線化学部会、同F
- △二十三日(月) 放射線化学部会、同F
- △二十四日(火) 放射線化学部会、同F
- △二十五日(水) 放射線化学部会、同F
- △二十六日(木) 放射線化学部会、同F
- △二十七日(金) 放射線化学部会、同F
- △二十八日(土) 放射線化学部会、同F
- △二十九日(日) 放射線化学部会、同F
- △三十日(月) 放射線化学部会、同F
- △三十一日(火) 放射線化学部会、同F

予定。(観光・四日) ○住友金属鉱山は、核燃料開発を進めていたが、七日開かれた第十三回委員会、所長候補に阪大工学部長伏見康治氏を推薦するに決した。また同研究所は名古屋大学に付属させることにし、同大と交渉するが、とくに反対はないらしい。(毎日・八日) ○かねて通産、大蔵、原子力委員会の原子力関係の申補技術提携を認めるかどうかを検討していたが、このほど富士電機と英GECとの提携を許可し、原研の東海研究所建設に万全の体制を整える話し合いがはじまった。おそくは二十四日の外資審議会幹事会にはかり、今月末の審議会でも正式に認可する予定。(本紙前号本欄参照)(朝日・十一日)

ビタミン・ミネラルの高単位補給に

高単位総合ビタミン剤

強力ミネピタール

疲労回復、体力増強、発育促進、妊産婦、病中病後に
ビタミン13種、ミネラル12種、肝臓エキス配合
30錠 100錠 ミネピタール 30錠 100錠

お子様に……ミネピタール小児用
リジン・13ビタミン・12ミネラル配合 60錠・200錠

赤ちゃんに……ミネピタール末
12ビタミン・8ミネラル配合 25g・100g

三共株式会社

剃刃の革命

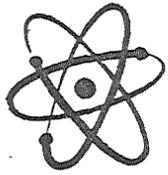
ステンレスの刃……

ステンレスの刃付けに初めて成功した新製品です。刃先が非常にシャープで、切れ味の寿命がおどろく程長くなりました

7枚入 100円

資生堂ポアン剃刃

米国インベリアル社と技術提携



原子力産業新聞

第一四四号

昭和35年5月25日
毎月3回(5日、15日、25日)発行
1部7円(送料不要)
購読料 1年分前金200円

昭和31年3月12日第三種郵便物認可

発行所 日本原子力産業会議

東京都港区芝田町1の1(東電旧館3階)

電話(59)6121~5

振替東京5895番

原産第七回通常総会を開く

会長、副会長は再選

業務計画、事業計画、予算などを承認

日本原子力産業会議では五月二十一日午前十一時、東京丸の内日本工業クラブで第七回通常総会を開き、昭和三十四年度業務報告ならびに収支決算承認の件、昭和三十五年事業計画ならびに収支予算承認の件を議決し、可決した。

役員任職期満了につき過半数の候補者を選考、これを承認した。あつて理事六十名、監事五名の候補者を選考、これを承認した。のち休憩中に開いた理事会で選出した会長、植村 大蔵、杉三副会長、高城、橋本、堀越、松根四常任理事の重任、顧問三十一名、相談役二十四名、評議員会議長、同副議長五名の委嘱を承認正午すぎ終了、全員懇親パーティーに臨んだ。

改選役員顔ぶれ

理事六十名、監事は五名

原産第七回通常総会で決定した「堀新、本田親男、松永安左衛門、役員諸氏は次のとおり。(各役員 向井忠晴、村山長幸、安川第五郎、山原正道)

◇会長 菅次之助 副会長 植村 大蔵、大塚、杉通助
◇顧問 足立正、石川一郎、石坂 泰三、稲垣平太郎、岩田重造、太田垣士郎、大橋八郎、加藤武男、堀井剛(前相談役)、兼重克九郎、亀山直人、茅誠司、小坂順造、小林中、後藤文夫、郷吉潔、▽佐藤賢一(前理事)、波沢敏三、正力松太郎、関根三、十河信一、高橋達之助、原三郎、藤井崇治

◇理事 阿部孝次郎、青木均一、淺田長平、青原義重、安西正夫、石毛郁治、石松正鉄、一井保造、内々崎寛五郎、小島新一、大山松次郎、大和田博二、岡野保次郎、鹿島守之助、金井滋寛、神野金之助、川北慎一、河合長成、菊池正吉、岸道三、久留島秀三郎、倉田主税、栗西清、小泉幸久、小坂徳高、佐々部隆徳、佐藤賢一、

産業開発委員会活動

日本原子力産業会議が産業界の立場から今後の原子力開発についての考えを十分に検討し、国の方針に反映するため設置した「原子力産業開発特別委員会」は、さきに総合部会、放射線利用部会を発足させたが、五月二十四日までに次の七部会が発足した。

発電第一部会

電気事業の立場から原子力発電の必要量をきき、その実施計画を立てる発電第一部会は、二十四日午前原産会議室に青木部長ら約四十名出席して開会。検討項目として(1)電力の長期供給見通し(2)電力の供給見通し(3)所要燃料の見通し(4)原子力発電の見通しをあげた。

発電第二部会

また幹事部に第一、第二の小委員会を設け、電力供給と燃料、原子力発電の経済性について分担することとした。

注上の問題点を検討するとともに、実用原子力発電炉にいたる技術開発計画をつくるものである。当日は部会として何をやるべきかを討議し、二十四日常任幹事会を開いて具体案を作成した。次回の部会で検討することになった。

原子力材料部会

原子力材料部会は十七日午前十時原産会議室に安西部長ら約四十名出席して開会。経過報告のち基本方針と運営方針を議決、ひきつづき検討事項、今後の運営方法について意見を交換した。この結果、検討の対象期間を一昭和五十年までとし、できるかぎり以後五年の見通しも盛り込む。減速炉却材、金属材料、建設建設の三分料

核燃料部会

核燃料の供給に関する開発体制、成型加工、再処理のほかウラン濃縮、廃棄物処理などの分野について

試験研究部会

試験研究部会は、十九日原産会議室に駒井部長ら約三十名出席して開会した。席上、対象期間と前案案件、調査検討の日程目標、調査検討項目と概略日程などについて討議したが、三十日常任幹事会を開き、これらの意見を総合調整して具体案を作成、六月上旬再び部会を開いて決定することになった。

関連機器部会

原子力関連機器部会は二十三日午後一時から稲生部会長ら約四十名出席して開会。運営方針などについて意見交換し、毎月一回部会を開いて意見の交換、総合をほかるが、十名の運営幹事を

原子力船舶部会

原子力船舶部会は二十三日午後二時から原産会議室に稲生部長ら約三十名出席して開会。検討の方針、検討項目、スケジュール、運営方法などについて意見を交換した。その結果検討の対象を昭和五

おいて部会活動を推進する、五、六個の分科会を設け、部会委員が主査になる一などをきめた。また対象期間は五十年までとして最初の五年はできるだけ詳細なものとすることとし、技術面、生産面、市場性の現状と将来の動向について調査するが、市場性については東アジアとの関係もあるのとくにこれに重点をおくこととした。



原産の通常総会で役員候補の推薦報告をする選考委員長堀新氏

補償契約法検討へ

原子力局「考え方」を発表

原子力局は十九日、原子力委員会の了承を得、次期国会に提案する「原子力損害賠償補償契約に関する法律案(仮称)」について「考え方」を発表した。これは国会審議中の原子力損害賠償法に盛り込まれた国家補償のあり方や補償率、補償支払い額の限度など賠償補償契約の制度を定め、原子力事業者の損害賠償を確保するための法律である。

放射線化学専門部会を設置

原子力委員会決定

原子力委員会は昨年九月放射線化学懇談会の設置をきめ、放射線化学に関する研究開発上の問題点を諮問していたが、五月十八日これを放射線化学専門部会に引きかえ、研究開発の促進をはかることとした。同専門部会の設置はかねて産業界などから強く要望されていたが、定員の関係上懇談会となっていたもの。その後専門委員の減員や養成訓練部会の使命達成による解消などで、この問題が解決され

臨時8ページ発行

本号は、グラフ・特集・発展する日本の原子力産業一を取り録し、臨時にもページとして発行しました。

輝く健康、やっぱり!

グロンサン大型錠

肝臓に必要な栄養素「グリコーゲン」は、グロンサンの働きで目立って増えます。また肝臓に有害な脂肪がたまるのを防ぐことも、グロンサンの効きめの一つです。しかもグロンサンは、疲労のもとになる「疲労素」を解毒する力がすぐれています。グロンサンで、だんぜん元気になるのは、このためです。

疲労回復・二日酔い・慢性肝臓障害・黄だん・食中毒・自家中毒と副作用の予防・湿疹・じんま疹・つわり・神経痛・リウマチ・病中病後の回復などに奏効します

★グロンサン大型錠(青い箱)
15錠-200円・50錠-550円・150錠-1400円

★グロンサン錠(緑の箱)
30錠-140円
100錠-380円・300錠-1000円・1000錠-3000円

製造発売元 中外製薬株式会社

原子力損害の賠償法草案の概要

問題残る「国の措置」

国家補償の明確化を

原簿原子力補償問題特別委員会では、五月十七日午後二時から東京会館第九委員会を開き、五月二十一日開会に提出された「原子力損害の賠償に関する法律案」について、原子力局長長島武次氏から説明を聞いた。同法律案については、原簿ももともと三回にわたって要望を行っており、その成案がまたたいて三回にわたる。本号では、特別委員会の開会を機会に同法律案の概要を紹介する。この法律案は五月二十一日、国会では原簿が五月二十五日に行なわれた三回の開会がその法律案のなかにこのように反映している。...



長崎の旅

高井亮太郎

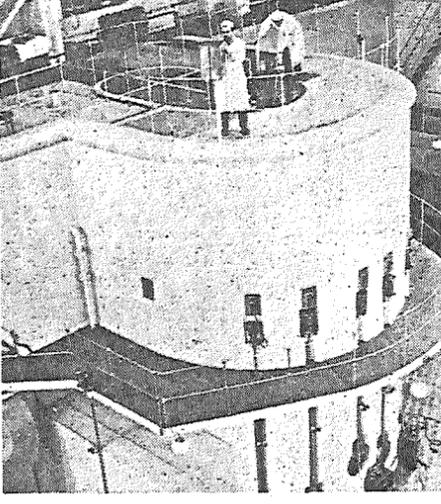
広島電気協会の総会に出席し、た足延びして五月十五日まで長崎の長崎に泊る。珍らしく家族づれた。佐藤社長のお話、丸山支店のかたが迎えてくれた。丸山町のゆかりの料亭花月。古風な門をくぐる。古びたモラルのゆかりの床の間、それに窓の外の景色、昔のまの椅子やテーブルにラングと、人の体臭が漂うような部屋に、くくく小じまのした和室に通ずる。...

雨は傾きに音を立て降り、わが国キリスト教初期の歴史を...

原子力損害の賠償

に関する法律案

この法律は、原子力の運搬等に起因する原子力損害の賠償に関する法律ができたのち、三十二年四月一日から施行されることとなる。同法律案の概要は以下の通りである。第一章 総則 第一条 目的 この法律は、原子力の運搬等に起因する原子力損害の賠償に関する法律ができたのち、三十二年四月一日から施行されることとなる。...



最近完成したソ連トビリシ(グルジア)の研究炉RT-2。スイミングプール型で出力二千KW。

米の海軍炉業界

頭の痛い米の海軍炉業界

アメリカの海軍用炉心部は、過当競争のために入札価格が低くなっており、また海軍としても原子力艦艇発注のビッチが落ち、その対策に頭を悩ませている。アメリカの海軍用炉心部は、過当競争のために入札価格が低くなっており、また海軍としても原子力艦艇発注のビッチが落ち、その対策に頭を悩ませている。...

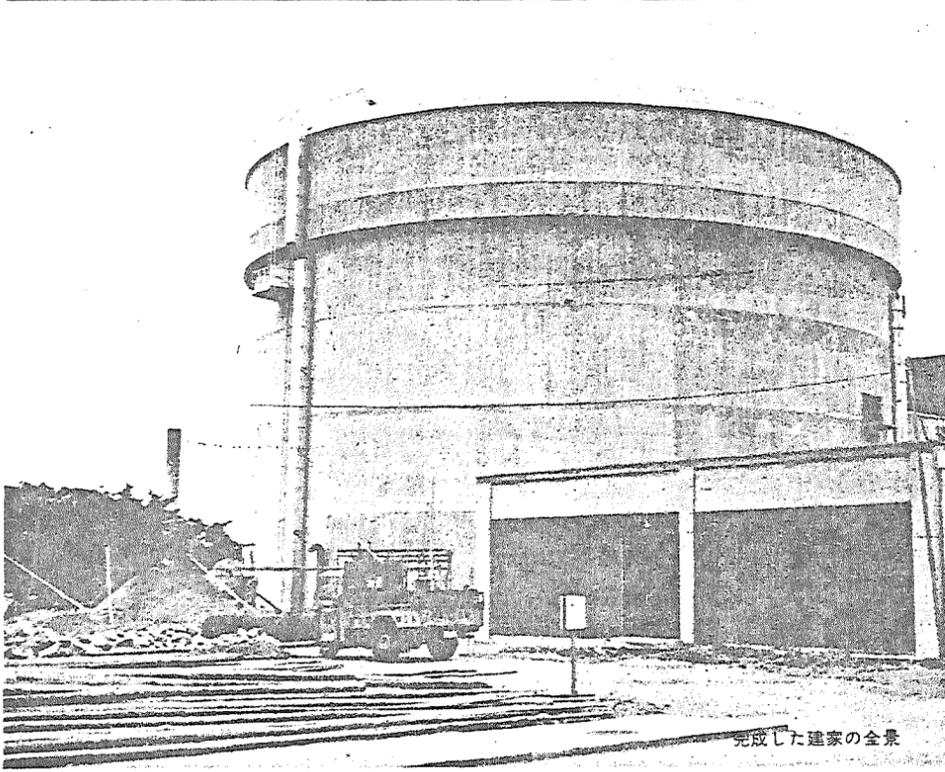
浦上の天主堂は、その歴史が古く、花のバリの検舞台で、東の大親分は西の大親分と、満ちた中で手をあやまるとなると、この天地を神生かす、願わくは日本人の心、人のエノケルを平和利用にむけさせ給えと祈りつつ雲袖に向かい、油し、天の終なき業を求め、決裂を伝えた。(原簿相談役、海外電力調査会長)

この法律は、昭和三十六年四月一日から施行する。附則 一、この法律は、昭和三十六年四月一日から施行する。

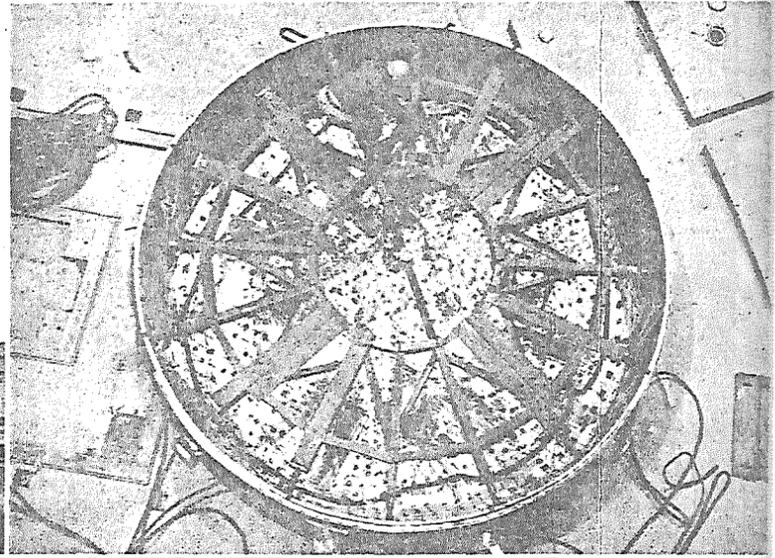
2千円から証券投資を たのしめる..... マネービルクラブ 日興証券 本店 東京・千代田・新丸ビル 宛町営業部 東京・日本橋・兜町

TOKYO Gas 東京瓦斯株式会社 取締役社長 本田弘敏 取締役副社長 安西浩 東京都中央区八重洲1の3 電話(281)0111~10.0121~10.1121~10

特集 発展する日本の原子力産業

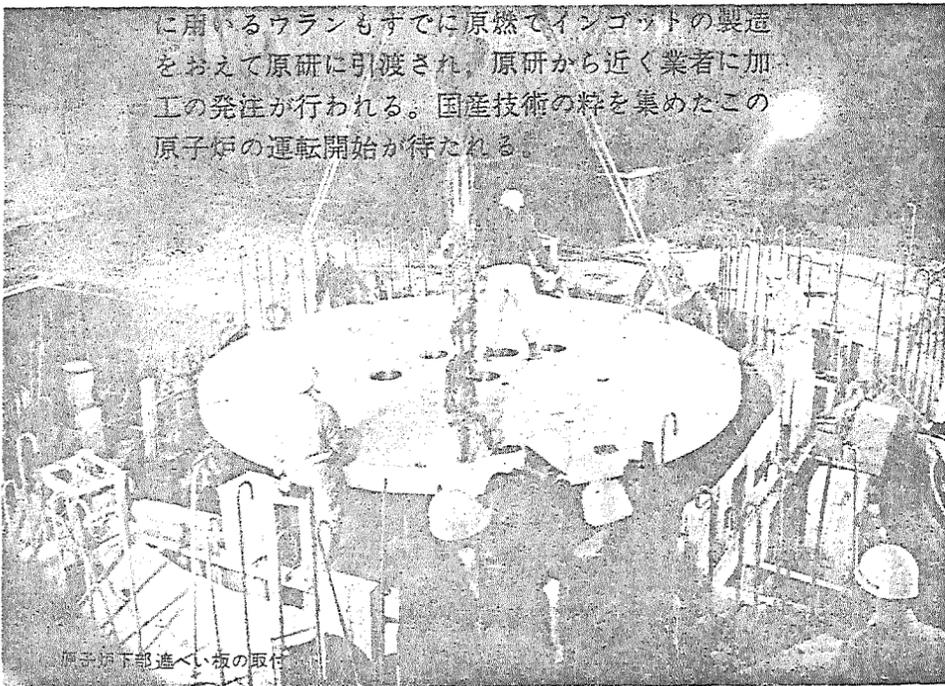


完成した建家の全景

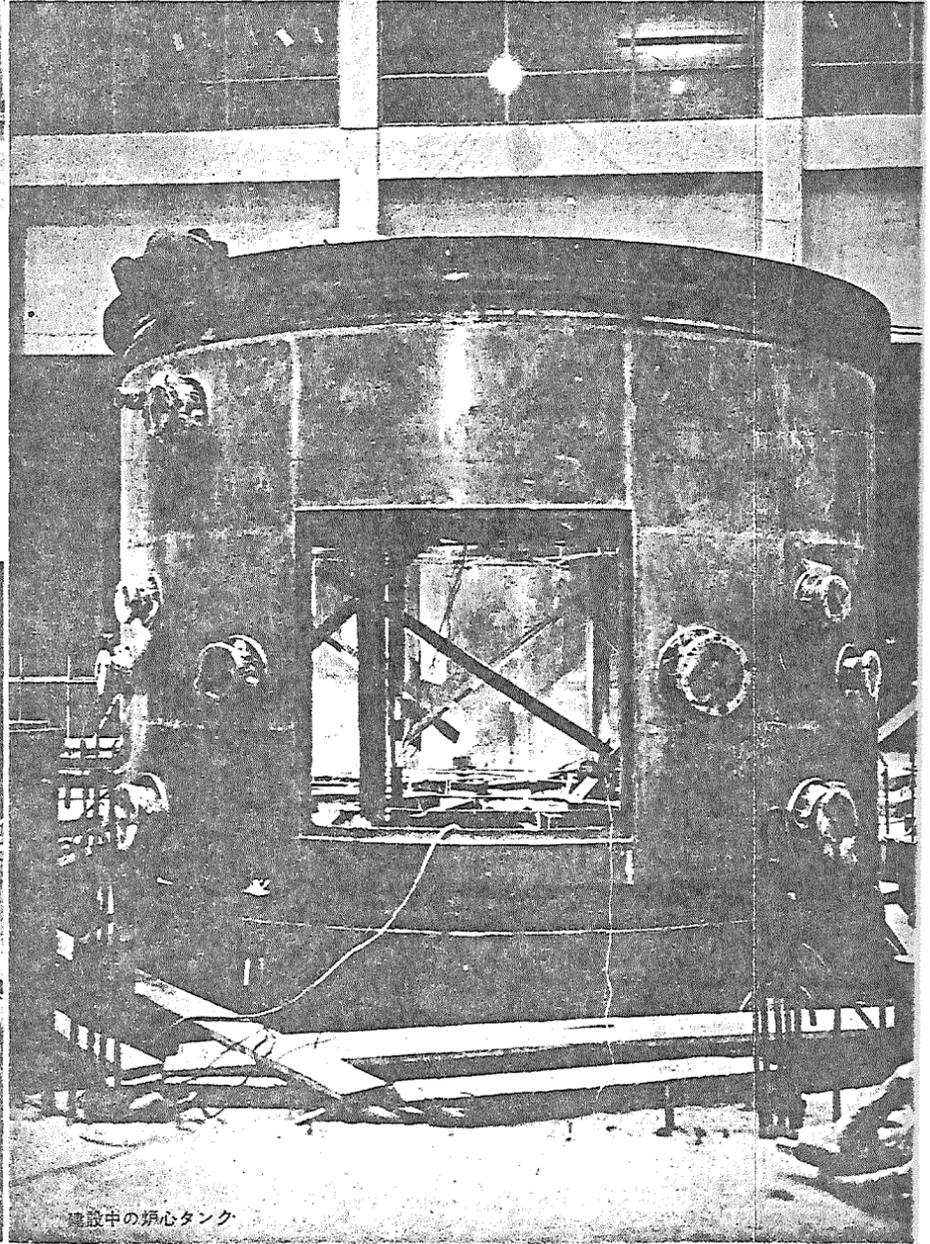


国産1号炉の建設

原子力産業界の協力で建設がすすめられている JRR-3(熱出力1万kW)は、このほど建家が完成、いま炉本体の組立てが急がれている。燃料に用いるウランもすでに原燃でインゴットの製造をおえて原研に引渡され、原研から近く業者に加工の発注が行われる。国産技術の粋を集めたこの原子炉の運転開始が待たれる。

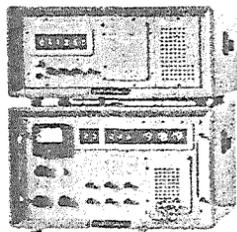


原子炉下部進入板の取付

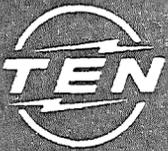
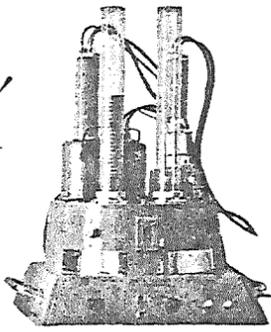
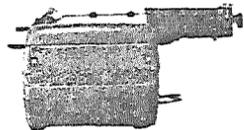


建設中の炉心タンク

あらゆる産業に奉仕する……



テン原子力機器!
オートマチック
サンプルチェンジャー
ATS-1型



神戸工業株式会社

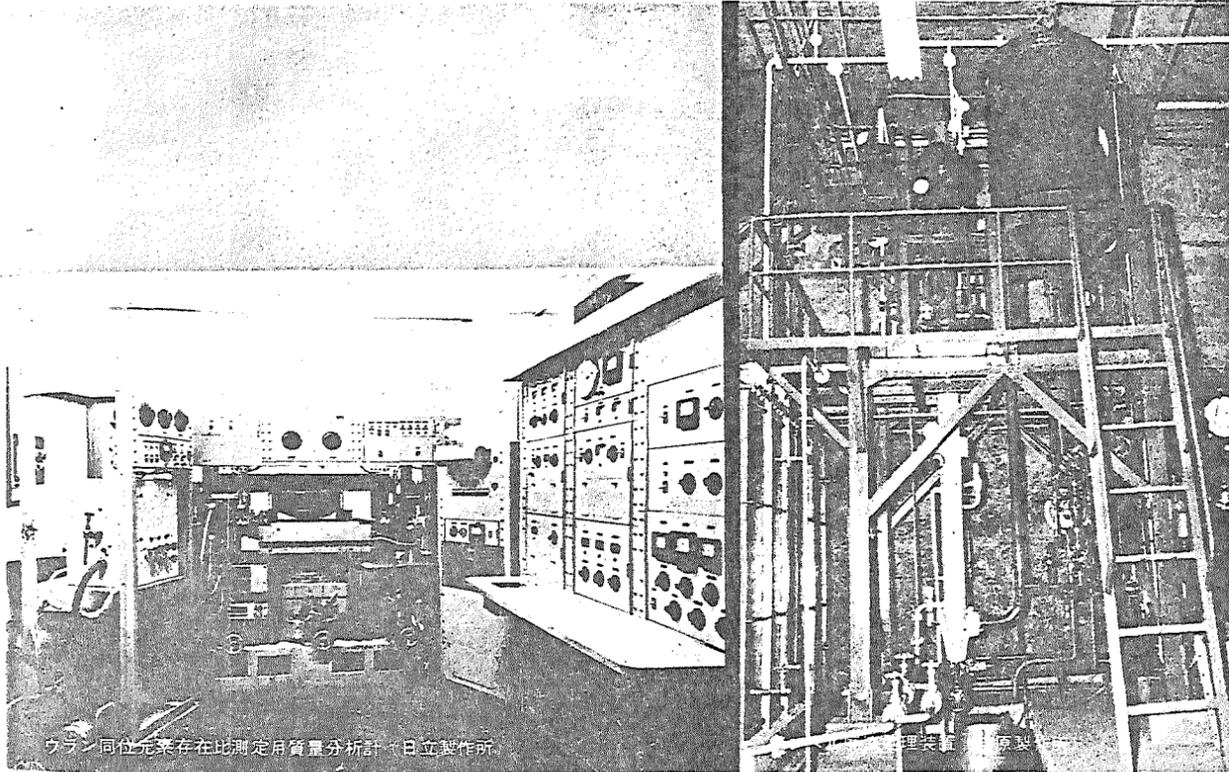
神戸・東京・大阪・札幌・仙台・名古屋・広島・福岡

東芝
放射線機器
原子力機器
放射線測定器
放射線サービス

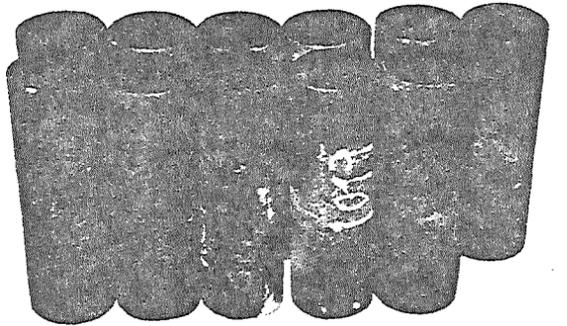


東芝放射線株式会社

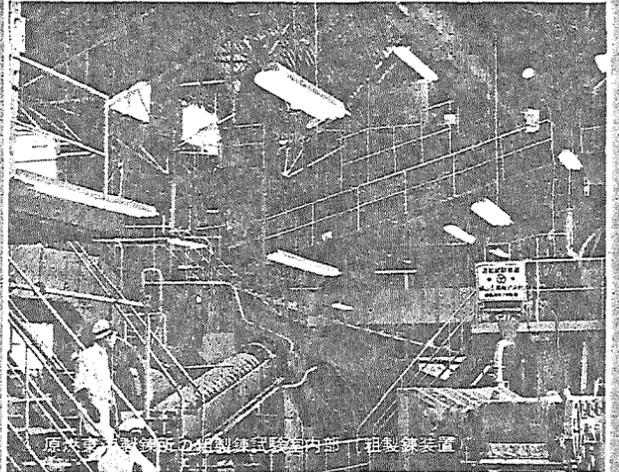
(本店) 東京都中央区銀座7-5 電話(571)5571(代)・6171(代)
(支店) 東京・静岡・新潟・長野・前橋・水戸・横浜・千葉・立川
・大阪・京都・神戸・福岡・鹿児島・小倉・大分・仙台・
(営業所) 秋田・青森・広島・松江・岡山・下関・名古屋・札幌・帯
広・旭川・金沢・高松・松山



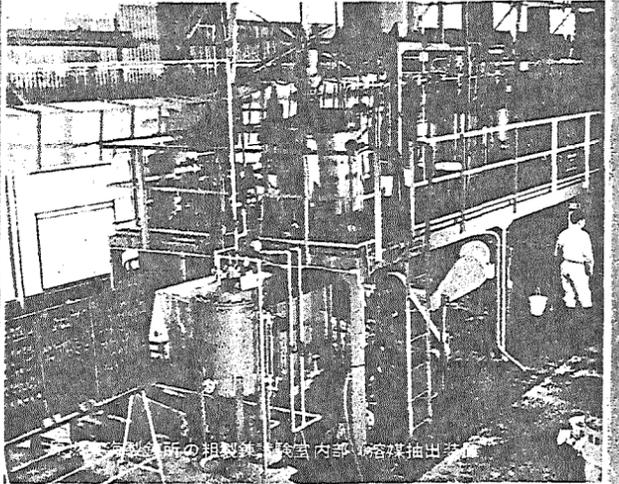
ウラン同位元素存在比測定用質量分析計の日立製作所



天然ウランインゴット



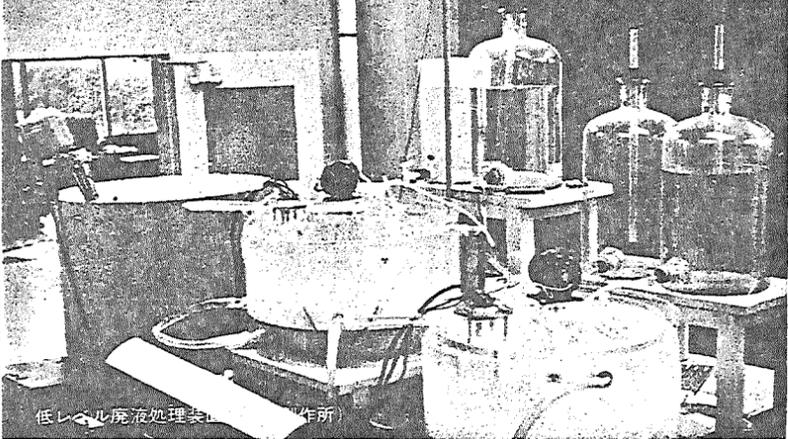
原子力研究所の燃料製造装置内部の粗製装置



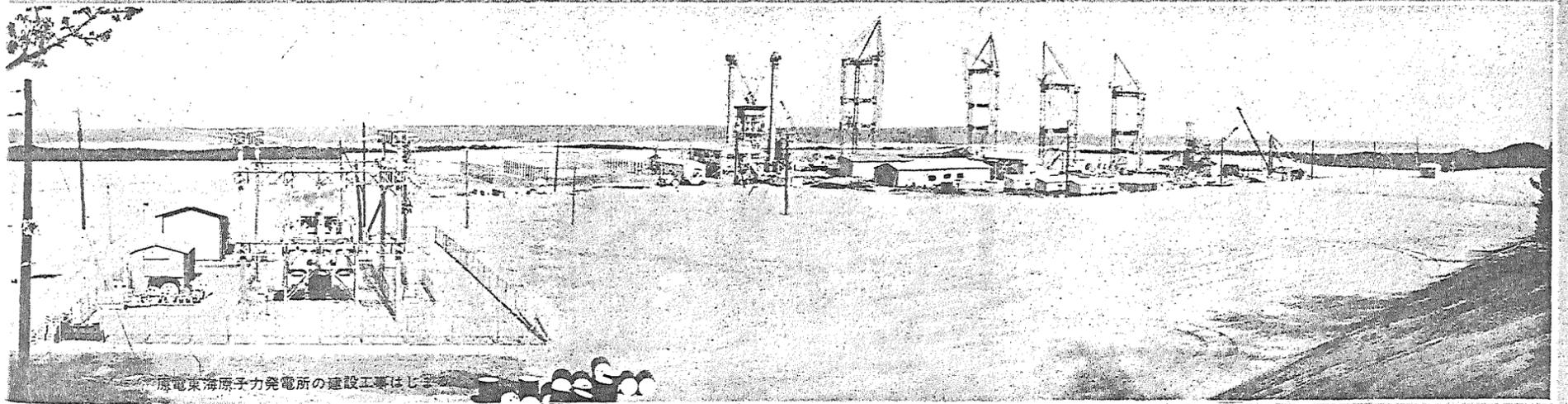
原子力研究所の粗製装置の内部の溶媒抽出装置

原子力産業技術

然ではすでに原子炉に用いるウラン生産に成功しているし、産業界では燃料体の成型加工技術を確立しつつある。国産の燃料体が国産の原子炉に用いられる日も近い。



低レベル廃液処理装置の日立製作所



原電東海原子力発電所の建設工事はじまる

住友原子力工業株式会社

(SUMITOMO ATOMIC ENERGY INDUSTRIES, LTD)

社長 平塚 正俊

本社 大阪市東区北浜5-22 (住友ビル) 電話(23) 大代表6781
 東京支社 東京都千代田区丸の内1-8 (新住友ビル) 電話(211) 代表1543
 宝塚放射線研究所 宝塚市蔵人字末成 電話(宝塚)4441-2

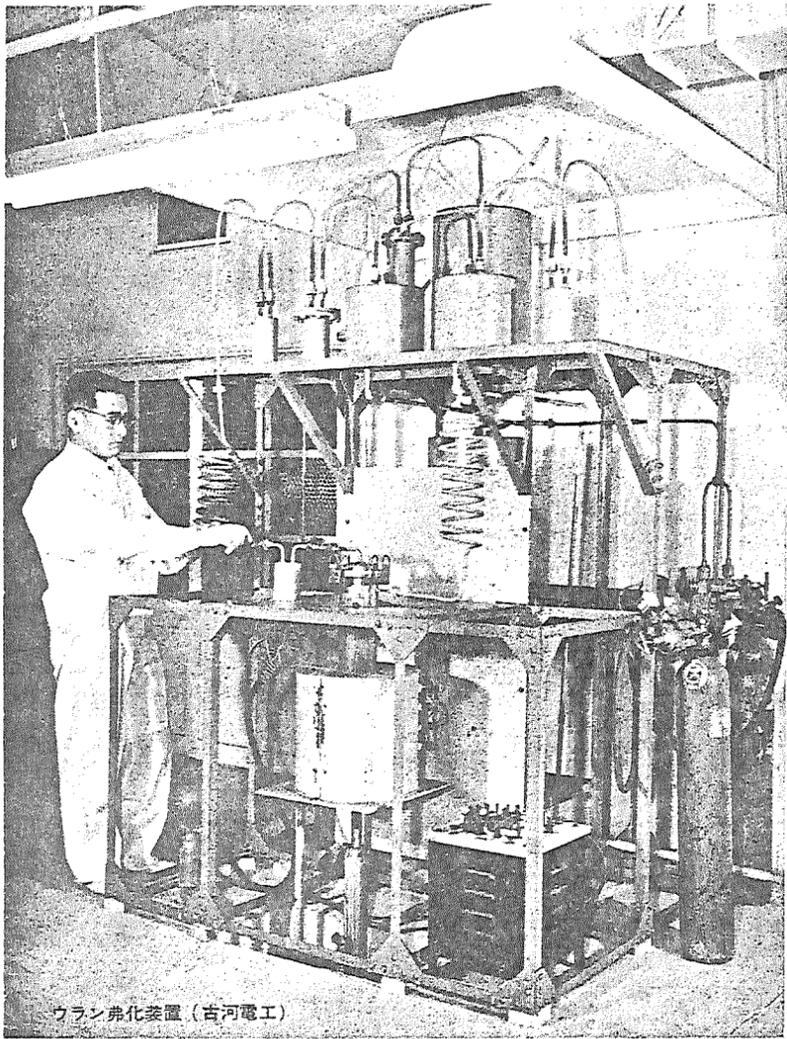
事業目的

- 原子力に関する調査研究、技術指導
- 研究室および研究施設の賃貸
- 核燃料物質の精練、加工、再処理および販売
- 放射性同位元素の購入、販売
- 原子炉および原子力一般の関連施設並びに機器の製造、工事請負等
- 原子力関係諸材料の製造販売

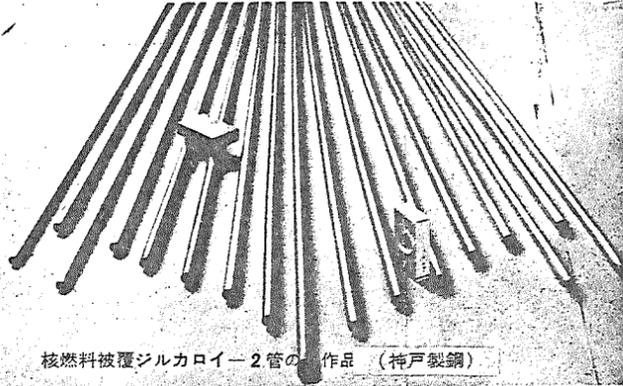
第一原子力産業グループ (FAPIG)

会長 和田恒輔
 副会長 手塚敏雄・浅田長平・西川政一

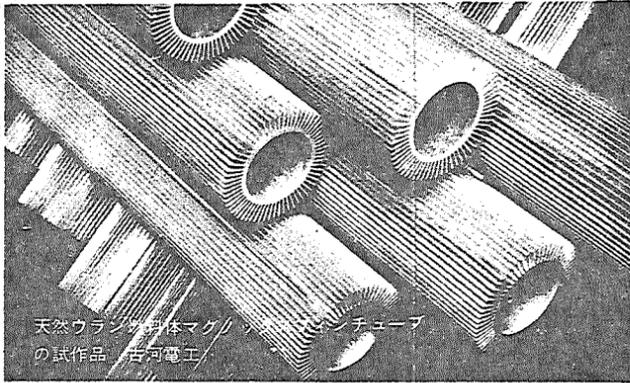
- | | | | | | | | | | | |
|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 旭朝日 | 電一 | 化銀 | 古河 | 河原 | 鎮造 | 業所 | 協和 | 和火 | 銀災 | 行上 |
| 朝日 | 第一 | 行銀 | 播伊 | 原藤 | 船志 | 事商 | 日日 | 本火 | 金災 | 属商 |
| 大和 | 和原 | 行銀 | 川川 | 川崎 | 重航 | 事工 | 日流 | 本水 | 倉倉 | 庫庫 |
| 住富 | 士通 | 作機 | 川崎 | 崎崎 | 空製 | 業機 | 津清 | 澤火 | 建建 | 設設 |
| 富富 | 士通 | 機機 | 川崎 | 崎崎 | 工工 | 業業 | 大宇 | 成火 | 災災 | 上上 |
| 古河 | 電電 | 工工 | 神神 | 神神 | 製製 | 鋼鋼 | 横横 | 部部 | 興興 | 産産 |



ウラン弗化装置 (古河電工)



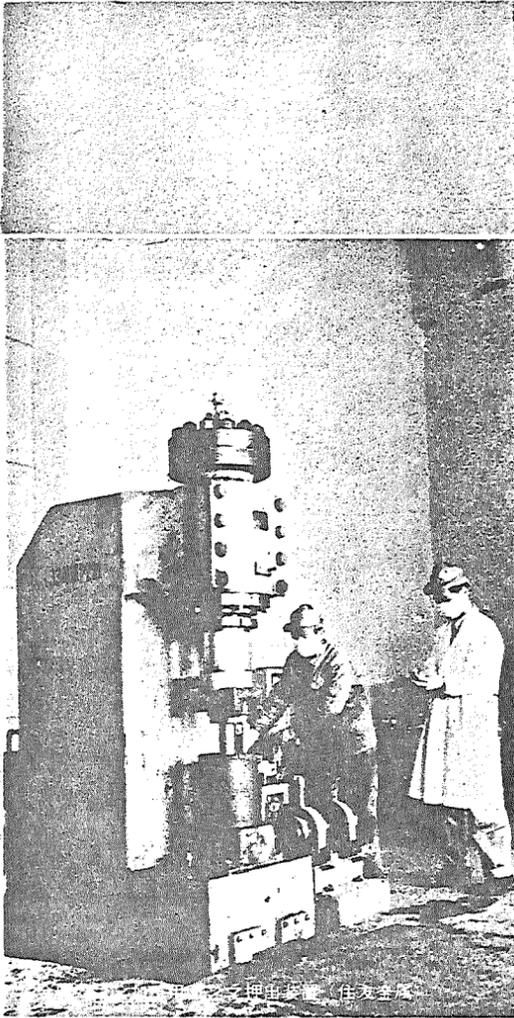
核燃料被覆ジルカロイ-2管の作品 (特戸製鋼)



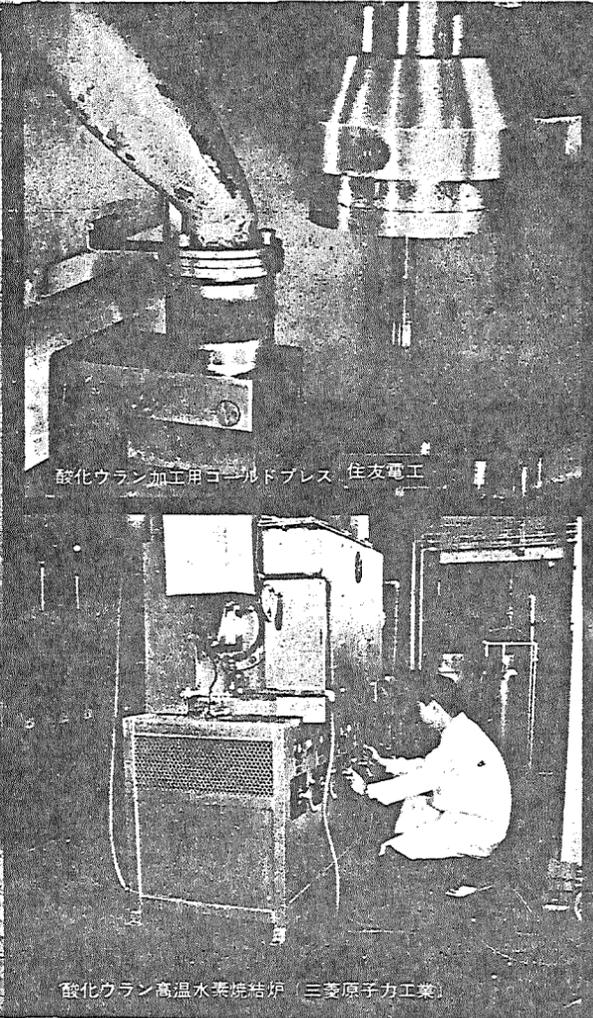
天然ウランの合金マグネシウム合金チューブの試作品 (古河電工)

生産、利用の両面における、最新の原子力産業技術の伸展はめざましいものがある。本号ではこれのうち、最近1年の間の原子炉原子燃料関係技術の開発について紹介した。

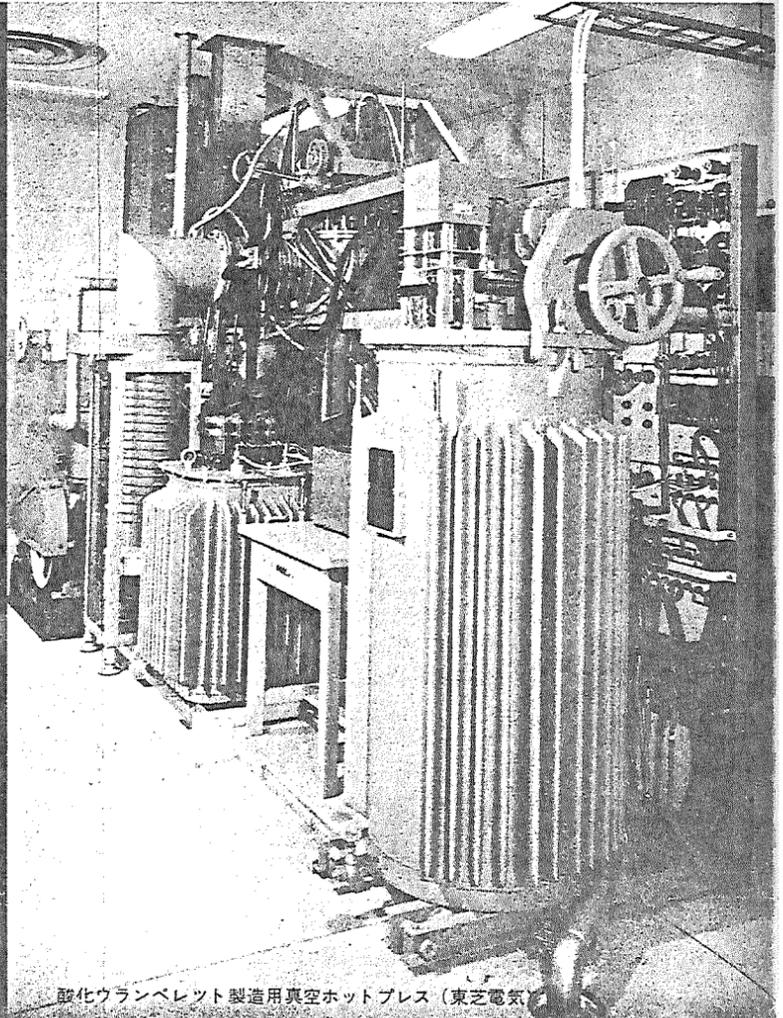
伸びゆく原



ウラン弗化装置 (住友金属)



酸化ウラン加工用コールドプレス (住友電工)



酸化ウランペレット製造用真空ホットプレス (東芝電気)

Nippon Atomic Industry Group Co., Ltd.

- 原子力総合研究所の設置運営
- 原子力に関するコンサルティングサービス
- 原子力発電施設の設計、請負、工事監督、運転指導
- 原子力の利用に関する材料、機器の製造販売

日本原子力事業株式会社

取締役会長 石坂 泰三
取締役社長 瀬藤 象二

本社 東京都千代田区有楽町2の4(ニュー・トーキョービル7階) TEL. 東京 (571) 2161 (代表)

MITSUBISHI ATOMIC POWER INDUSTRIES, INC.

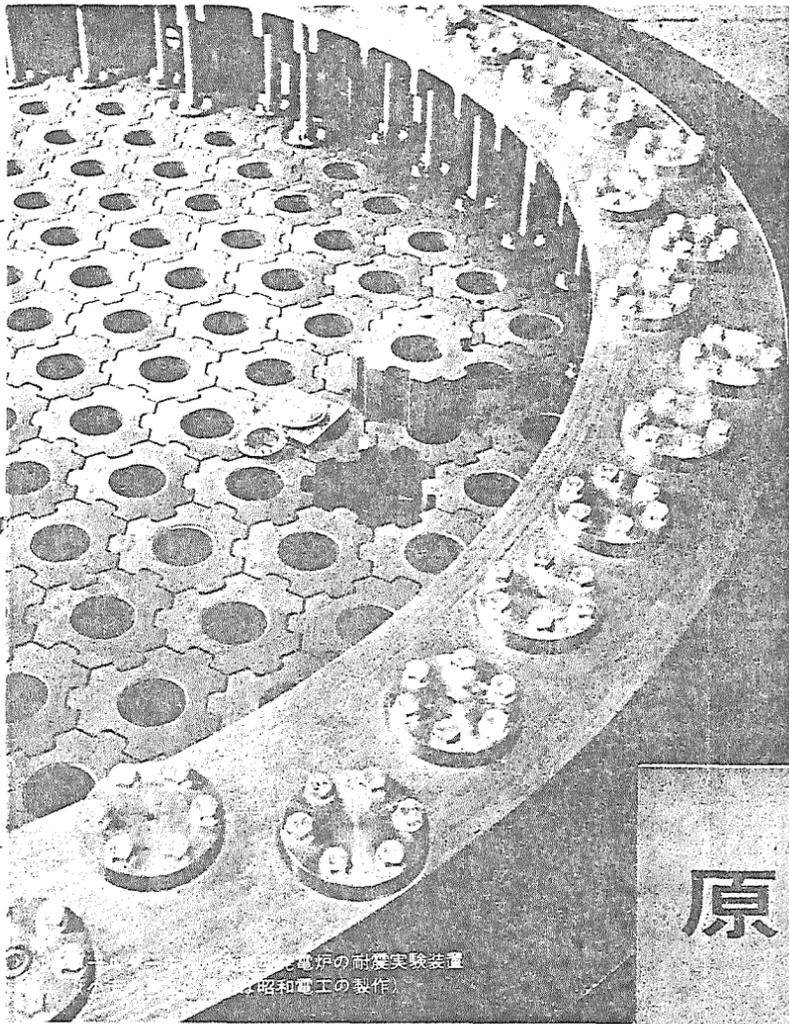


- ▶原子炉および原子動力設備の設計、製作、販売、据付、運転、保守
- ▶原子力の平和利用に関する研究、技術指導
- ▶放射線機器の設計、製作および販売
- ▶原子燃料の成形加工ならびに販売

三菱原子力工業株式会社

取締役社長 關 義 長

本社 東京都千代田区大手町1丁目4番地(大手町ビル2階)電話 和台倉(201)65 番(代表)
研究所 埼玉県大宮市北袋町1丁目297番地 電話 大宮 1515番(代表)



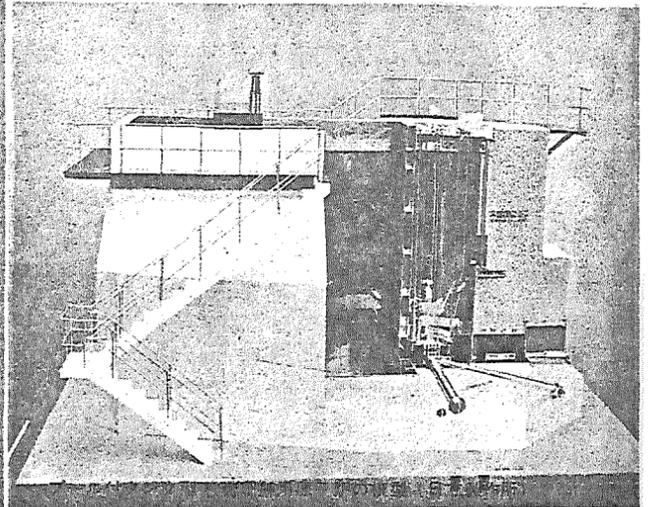
原子炉の耐震実験装置
(昭和電工の製作)



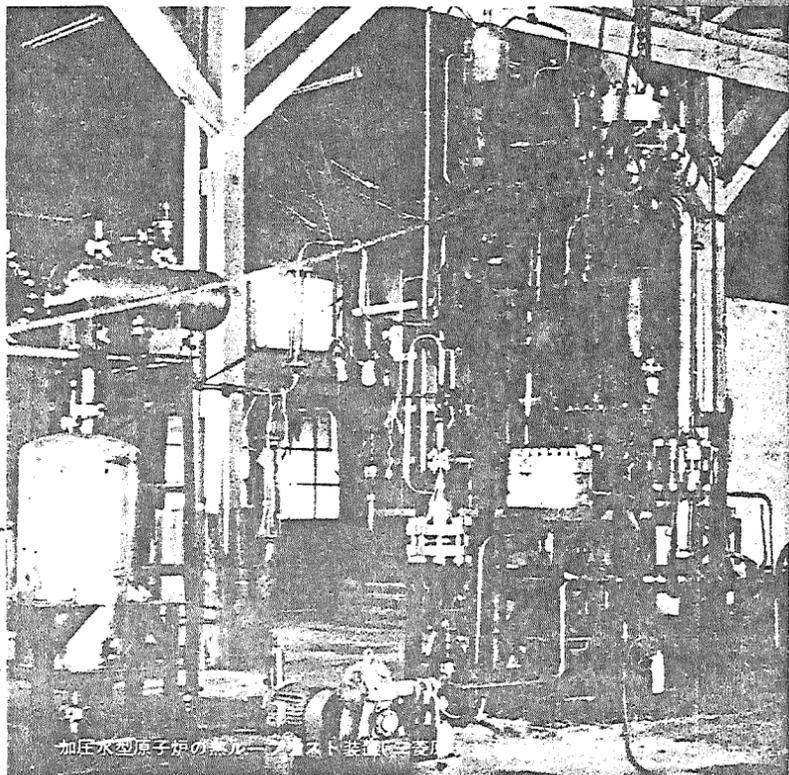
原研の水均質炉臨界集合体 (石川島重工業)

原子炉技術 の 開発すすむ

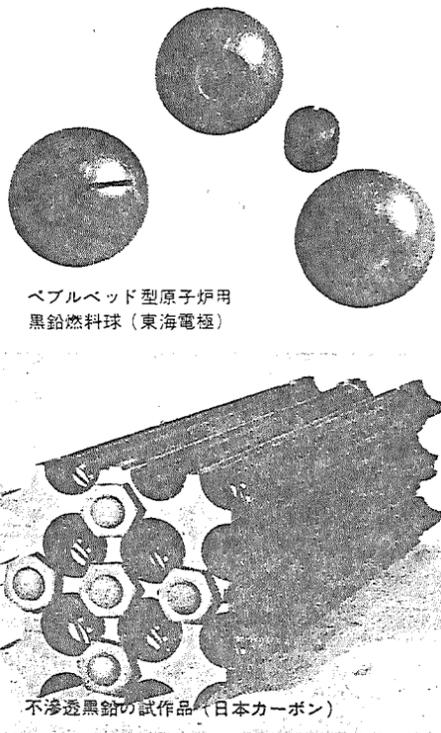
急ピッチに進む原子炉の建設とあわせて、
わが国独自の原子炉技術の研究も着々と
進められている。



原子炉の模型 (日本原子力)

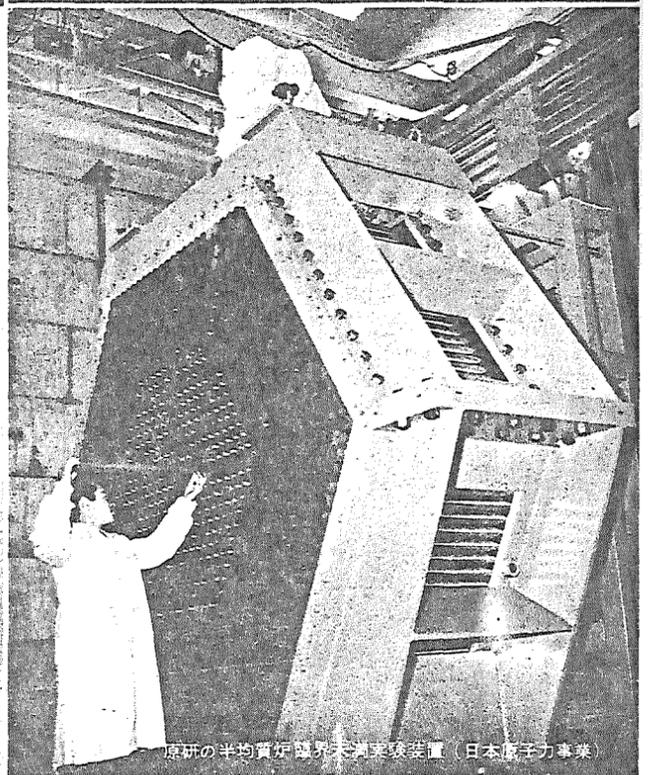


加圧水型原子炉の熱交換器の設置状況



ベブルベッド型原子炉用
黒鉛燃料球 (東海電極)

不透過黒鉛の試作品 (日本カーボン)



原研の半均質炉臨界実験装置 (日本原子力)



日本原子力発電株式会社

The Japan Atomic Power Company

取締役社長 安川第五郎

東京都千代田区大手町1丁目4番地 (大手町ビル2階)

電話 和田倉 (201) 6631 (代)

- 日 立 製 所 興
- 昭 和 電 工 設 日 安
- 鹿 帝 国 建 人 設 網 船 富
- 日 立 紅 造 飯 船 田 三
- 日 立 金 館 電 線 田 和
- 日 本 産 本 化 業 属 士 和
- 日 本 産 本 冷 学 廠 銀 銀
- 日 本 産 本 化 学 廠 産 産
- 日 本 産 本 水 産 金 産 行
- 日 東 本 冶 冶 産 産 行
- 東 京 本 燃 冷 産 産 行
- 日 本 本 製 冷 産 産 行
- 丸 善 油 石 油 石 油 行

TAIC

東京原子力産業会

会長 倉田主税

東京都千代田区大手町1丁目4番地
TEL (201) 7921

七月水戸で二つの講習会

高校の理科教師に

三日間原子力関係を講義

七月二十七日から二十九日水戸市原...

小、中、高校の理科主任にも

講師は糸川東大教授...

核物質管理の講習

IAEA保障措置部長が

わが国の核燃料関係者に核物質管理...

原電の建設現場を見る

—原研と原燃の懇切な接待に感謝—

東海村原子力施設見学会の盛況

三百十名の参加申し込みを受け、...

穴の中にはケーソン打ち込みの準備...

原子力委員会は五月十八日、...

過当競争の抑制へ 政府・技術導入を検討

通産省側の了解を得た。「原子力...

六月の原子力事務 情報会議は六日

六日(水)原子力国内事情...

特別核物質の配分案をきま

原子力委員会は五月十八日の定例...



スミス保障措置部長(中央)の講習会

下期に五億円増資

NAIG総会事業計画など承認

日本原子力事業会社は五月十八日、...

有望な鉄との合金

カナダのウラン事情説明

現在カナダではウランがオーバ...

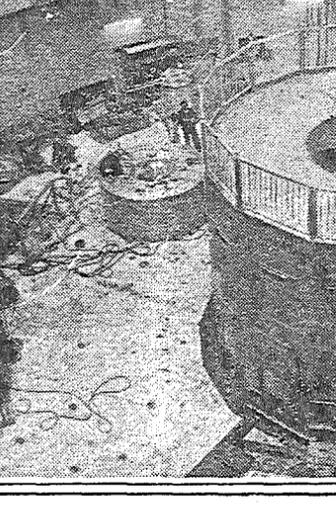
六月の原子力事務 情報会議は六日

特別核物質の配分案をきま

原子力委員会は五月十八日の定例...

特別核物質の配分案をきま

原子力委員会は五月十八日の定例...



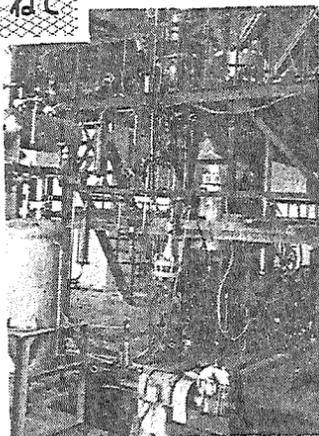
原子炉・原子動力設備

放射線機器

原子燃料

三菱原子力工業株式会社
三菱日本重工業株式会社
新三菱重工業株式会社
三菱造船株式会社
三菱電機株式会社
三菱化五機株式会社

研究所をたすねて



燃料棒冷却実験用の熱ループ装置

日本の原子力産業も原電の東海発電所の建設着手によりその研究開発は二歩前進して、新しい段階に入った...

燃料体製造で成果

本館も本年度中に完成

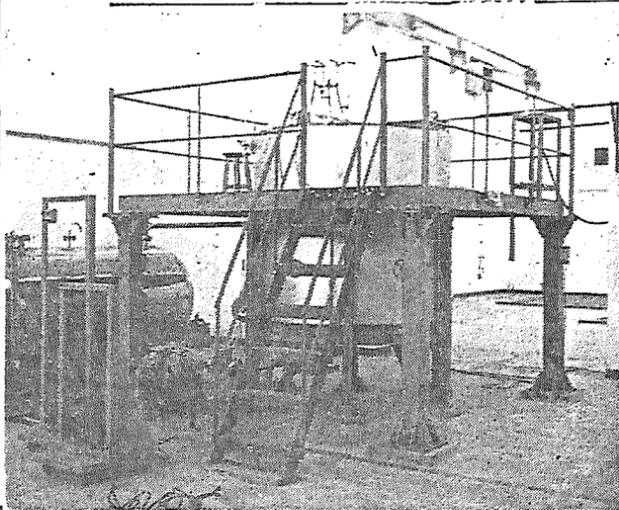
三菱原子力工業大宮研究所

大宮市の南は北谷町に三菱原子力工業大宮研究所がある。この研究所が三菱重工業の敷地を借受けたもので、広さは約五万平方...

設計の予定で、現在設計をおこなっている。このように物理関係では将来核物理実験も積極的におこな...

中性子減速装置を完成

初夏の一日、同研究所を訪れ調査課の杉本課長に説明を聞きながら研究所の内部をひととおり見てま...



（物理第一研究室）

加速器

五月十日原子力燃料公社はかねてのお約束である原子力燃料用燃料地金四ヶ年を支援する...

ギャンブルに似た気持

初のウラン地金出荷に思う

その言葉を聞いては反対に受け取られてきた。その心持は、ギャンブルに似た気持だ。...

放射線管理に万全

研究部門とは別に放射線管理部門を特別に設けている。これは核燃料物質やアインシュタインなどを扱うからで、これによって研究者や一般公衆を放射線被害から守る...

一億四千万円（原子力）

文部省の配分をきま

文部省は五月十四日、昭和三十五年科学費の配分を決定して発表した。これはわが国の科学を根本から振興させるため、大学など...

原子力発電 幹事きまる

部会委員は二三四名に

原子力発電特別委員会ではこのほど原子力発電第一部会の幹事もきまり、各部会ともいよいよ発足の運びとなった。五月十八日現在の原子力発電第一部会幹事および部会委員、幹事の追加と変更は次のとおり。

- ウランおよびウラン合金の溶解精製
東北大学工学部(三)、七〇〇
ウラン磁気流体の測定に関する研究
同長尾重夫(三)、八二〇
化学交換反応および低濃度利用による同位体分離に関する研究
同後藤秀弘(五)、五〇〇
電子リニアックの試作研究
同島塚賢治(七)、〇〇〇
電子ポルト陽子による原子核反応の研究
F・M測定器
同東野中(七)、〇〇〇
原子炉燃料要素の高濃度ガスによる腐食
同大向功隆(五)、八〇〇
原子炉廃ガスおよび使用燃料からの有用核分裂物質の工業的分離法に関する基礎的研究
同山本寛(四)、四九〇
トランストロン同山田直平(九)、九五〇
ボリビア国チャカルタヤ山における宇宙線空気シャワー、ジェットシャワーの研究
同菅浩一(六)、〇〇〇
シンクロトロンによる原子核光反応の研究
同東小田幸康(五)、七〇〇
超高温プラズマの温度制御およびウラン化合物に関する研究
同舟木好右衛門(三)、〇〇〇
化学的方法による原子炉燃料、とくにウラン三五の濃縮分離に関する研究
同堀花秀武(四)、九〇〇
放射線による水産食品の防腐殺菌に関する研究
同水産大岡田邦之助(二)、八〇〇
高濃度燃料およびコールドの放射線の影響の研究
同藤大塩川考信(五)、八五〇
超高温環境下ラザマの発生と制御に関する研究
同名山本賢三(八)、四九〇
外部磁場による超高温プラズマの加熱と制御に関する研究
同東京大林重彦(二)、四〇〇
原子炉材料の核磁気学的研究
同西田友太郎(一)、〇〇〇
超高温プラズマの基礎的研究
同大伏見 康治(五)、四五〇
核燃料要素としてのウランおよびトリウム化合物に関する研究
同大石野俊夫(三)、二〇〇
コックロフト・ワット加速器からの中性子による原子核反応、中性子物理学ならびに放射線同位体元素利用の研究
同大田正明(六)、一四〇
金属同位体の分離
同都立大谷利三(三)、五〇〇
研究用原子炉(トリカー)による核分裂の研究
同立大田島三三(六)、八三〇
なほ放射線総合研究の分は三十二百万円を、採択課題も十二課題と昨年より三課題多くなった。

内外の原子力開発を展望する最も新しく最も正確なハンドブック
原子力年鑑 昭和35年版
定価 700円
A5判 8米横 2段組 630頁
クロス上製箱入
(付録) 原子力産業新聞3カ月分
全国書店で発売していますから、最寄りの書店で、お買い求め下さい。品切れの際は直接当会へお申込み下さい。
刊行 日本原子力産業会議